

学外実習B（フィールドスタディ）

選 択

開講年次：3 年次集中

科目区分：実 習

単 位：2 単位

講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：道内外のデザイン先進企業、歴史的建造物、現代建築の先進事例やデザイン関連施設等の調査・見学を通じて社会・産業へデザインを適用する上での知識・ノウハウについての理解を深める。

事前調査研究において、調査の目的や、調査対象の特徴について予め十分な検討・調査を行い、現地調査研修後にはレポートとしてまとめる。

なお、道内研修においては、研修先の1つとして札幌市内の施設を選定する。この施設に関する事前調査・現地見学を通して、対象施設と地域との関わりについて知見を深める。

■**到達目標**：①事前研究により、デザインの役割や社会的位置付けを理解する。

②社会・産業におけるデザイン実務の研究を通じて、実践的なデザイン開発やデザイン手法を習得する。

③歴史的建造物や古美術等を見学することにより日本文化への理解を深める。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎安齋 利典・大淵 一博・金子 晋也・須之内 元洋

■**授業計画・内容**：

第 1 回 オリエンテーション（4月5日）

第 2 回 現地研修に関する説明（5月17日）

第 3 回 現地研修先に関する解説（6月14日）

第 4 回 現地研修先の事前調査研究（1）とプレゼンテーション（7月5日）

第 5 回 現地研修先の事前調査研究（2）とプレゼンテーション（7月19日）

第 6 ～30回 〈現地研修〉

道内（2日）：札幌市内・近郊の企業、研究施設等のデザイン現場見学

道外（3日）：道外の研究機関・文化施設等における見学調査・公共機関等における見学調査

歴史的建造物や古美術等見学

■**教科書**：なし

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：出席状況（40%）、授業態度・プレゼンテーション（30%）、および事前・事後レポート（30%）を総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	◎	◎	◎	的確なレポート作成	30
授業態度	○	○	◎	積極的な姿勢	30
プレゼンテーション	◎	○	○	事前調査内容が的確にまとめられているか	
課題・作品					
出席	○	◎	◎	2/3以上の出席	欠格条件 40
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：なし

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：

・現地研修は8月上旬～9月上旬に実施予定。現地研修欠席の場合には、成績は認められないので留意されたい。

・現地研修に掛かる費用（交通費・宿泊費・入場料等）は、学生負担とする。

・本科目は研修候補先の事前調査研究と、これに基づく現地研修の実施、結果の分析と考察という一連の実践的な演習であり、修学旅行的なものではない点に留意されたい。